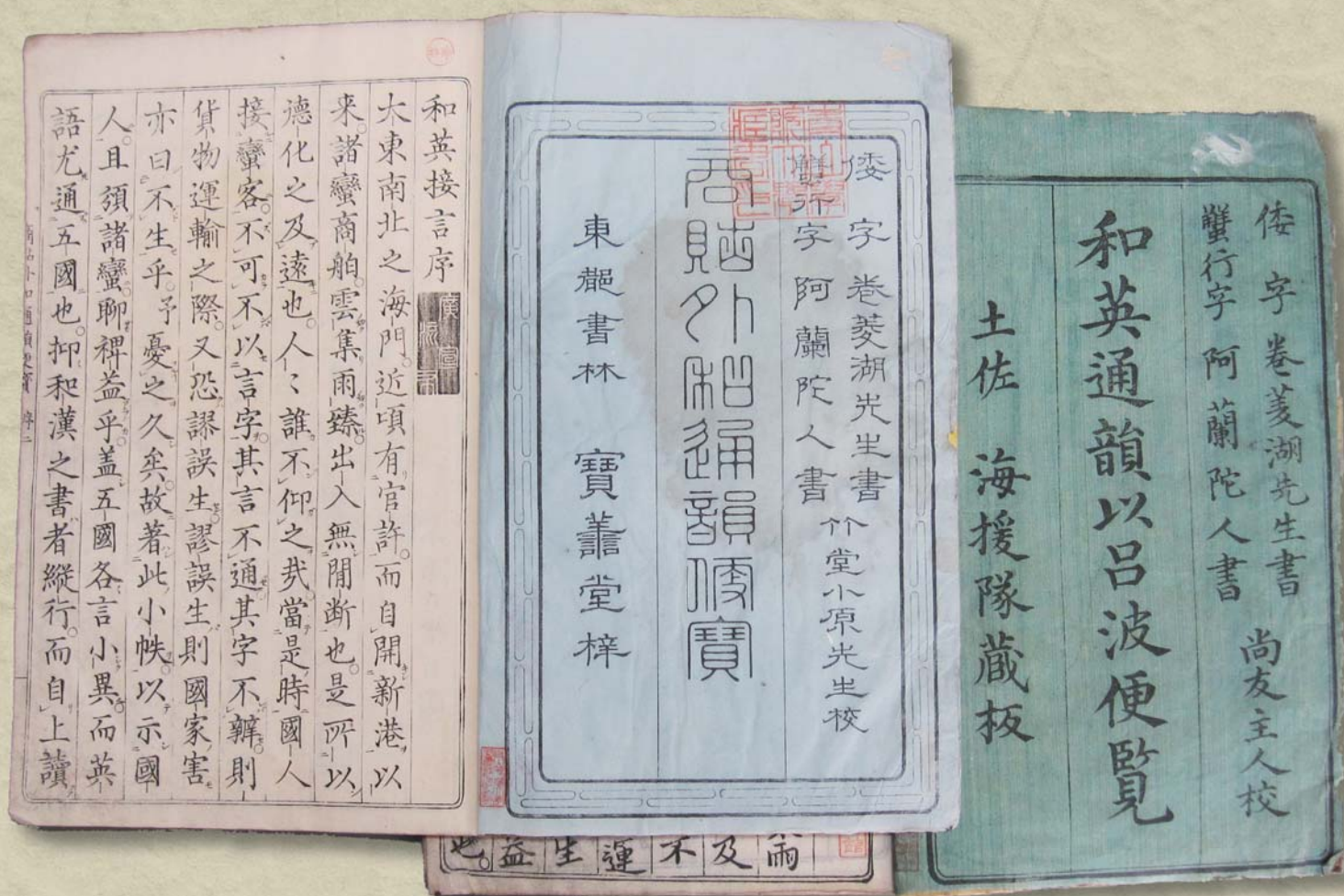


Aoyama Gakuin Archives Letter

青山学院資料センターだより 2010.12



資料が語る緑岡小学校の教育

中村早苗 —2

資料センター所蔵

貴重文献の史料 気賀健生 —4

受入れ資料 —6

日誌抄 —7

利用案内 —8

『商貼外和通韻便寶』巻菱湖・コンシュルフローエンド書、小原竹堂校、安政7〔1860年〕年2月、東都、寶善堂、2,27丁、27.5cm

青山学院が所蔵する英語・英文学関係図書の貴重書。1859年、5港が開港されてのち外国との貿易が盛んになり、その貿易に必要な英語習得の手はじめとして、アルファベットの綴り方、読み方、簡単な日・英単語対訳（いずれも活字体・筆記体併記）などが記されたものである。右はのちに、土佐海援隊が題名と序文を変えて発行したとされる『和英通韻以呂波便覧』（慶応4年発行）である。

資料が語る^{みどりがおか}緑岡小学校の教育

草苑保育専門学校非常勤講師 中村早苗

はじめに

緑岡小学校は、第6代院長阿部義宗が「真の教育は根底から始めるのが大切であります」(院長就任演説)と、青山学院に初等教育機関の設立を希望していたことを受けて、校友会会長である米山梅吉が一切の寄附を申し出て昭和12年に創立された。同時に、海岸女学校と青山女学院の卒業生である米山の妻はるの寄附によって緑岡幼稚園が創立された。

今回は、資料センター所蔵の資料から読み取れる緑岡小学校のめざした教育、現在の初等部へと受け継がれている教育について紹介したい。

米山のめざした教育

「小学校を宗教学校である青山学院が直接に経営することは当局の許可を得ることがむずかしかった」(『青山学院九十年史』)ので、青山学院小学財団を設立し、校名は緑岡小学校とした。小学財団の寄附行為や緑岡小学校設立の趣旨にはキリスト教に関する内容は一切ない。米山は月曜日の朝礼での訓話の中で「人からされて嬉しかった事は、人にもそのようにしなさい。人からされていやであった事は、人にもしてはいけない」と、子どもたちにわかりやすい言葉で語りかけたのであり、卒業生たちは後にそれが聖句であったと気づいたという。

米山の理想は「第一に青山学院のもつ宗教教育、第二に英語を教え、平和を愛する国際的人物を作ること」(『米山梅吉傳』)だった。英語教育に関する資料が2点ある。東京都公文書館所蔵の設立時の申請書の教科目にはなかった「手工」と「英語」を、13年11月5日「教科目ノ加設及授業料ノ変更認可申請」において「手工」を全学年に加設し、課外加設科として第4学年から「英語」を週1時間加え欄外に「英語ハ合計時間外トス」と書き込んで申請している。しかし、昭和12年度の通知表にはすでに「手工」と「英語」の欄があ

るので、なぜあとから申請したのか興味深い。

緑岡小学校から緑岡初等学校へ

卒業生によると、昭和12年に入学した1期生が4年生になった昭和15年度には「英語」の授業は行われなかった。時局が許さなかったのであろう。「昭和15年12月24日のラジオで、時の橋田文相は『私立小学校は、国民学校として不適當であるから廃止に決定した』と放送された」(『日本私立小学校連合会のあゆみ』)ことに対し私立小学校は集結して文部省と交渉を重ねた。その結果、廃止は免れたものの国民学校令の施行により「私立小学校は、国民学校を名のってはならぬ。小学校名も用いてはならぬ。との文部省から指令がでた。それで、各校は夫々従来からの関係上、初等部、初等科、初等学校と名乗ることにした」(前掲書)ので、緑岡小学校も昭和16年4月1日に緑岡初等学校と改称した。

変更したのは校名だけではなかった。昭和12年度と16年度の通知表を比べてみると、申請書に「偏知的教育ノ欠陥ヲ補フ」と記して加設した「手工」と理想の教育をめざして課外に加設したであろう「英語」が消え、鍛錬科として「武道」が加わっている。評価もABCから優良可へと変更していることがわかる。

昭和12年度(第1学年)

主事	校長	副校長	主事	教務主任	学級主任	庶務主任	図書主任	体育主任	音楽主任	美術主任	保健主任	生活主任	その他
米山梅吉	中山國六	梅吉	中山國六	梅吉	中山國六	梅吉	中山國六	梅吉	中山國六	梅吉	中山國六	梅吉	中山國六
白砂智													

緑岡小学校 通知表

昭和16年度(第4学年)

主事	校長	副校長	主事	教務主任	学級主任	庶務主任	図書主任	体育主任	音楽主任	美術主任	保健主任	生活主任	その他
米山梅吉	中山國六	梅吉	中山國六	梅吉	中山國六	梅吉	中山國六	梅吉	中山國六	梅吉	中山國六	梅吉	中山國六
山口廣司													

緑岡初等学校(通知表)

学習帳や文集に見られる初等部教育の原点

主事の中山国六は緑岡小学校の教育について「労作教育と合科教授」と題して「知、行合一の原理を認め知は行により真知に至るものとし、知育に偏せず行の教育を重視すべきものとした合科教授。労作教育の原理に基づき、未分科時代の低学年児童（1, 2, 3年）に対しては、各教科を従合した、合科教授案を作製してこれによって指導することにした」（『青山学院初等部20年のあゆみ』）と記している。緑岡小学校は一年生のみを募集したので低学年児童に合科教授が実践されたことは2期生の学習帳や文集の「おしらべ」という学習にみることができる。「おしらべ」とは、児童の身近な事柄、例えば、校外学習に行くときの持ち物・時間や集合場所・電車の経路などを学習帳に絵と文字で表現させている。また、学院内の自然に目を向けさせ、梅雨の時期には「あめのおしらべ」として、雨の季節の動物・雨の日の道具のいろいろ・雨が降ると困ることや役に立つことなど、一つの題材から児童の興味を広げ、学習を展開していることが読み取れる。身近な出来事を日々学習帳につづること、それに対して教師からのひとことが添えられることは、現在の初等部の教育へと続いている特色ではないだろうか。

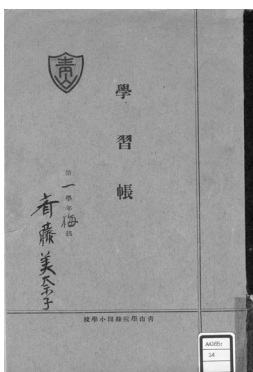
おわりに

今回紹介した資料の多くは、2003年に筆者と資料センターとで行った緑岡小学校に関する資料調査に対し、2期生を中心とした卒業生の協力によって収集できたものである。従って、緑岡小学校時代の教育についての記述となった。集団学童疎開先の写真、家族にあてた手紙、日記なども紹介しなければならないが別の機会に譲ることにした。

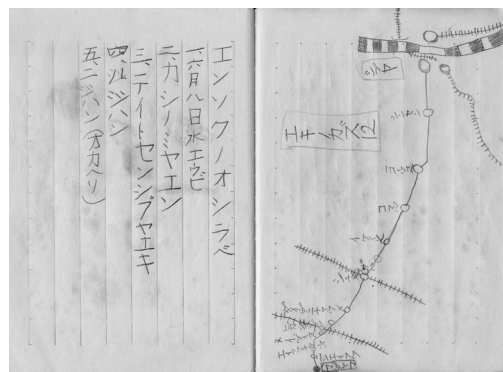
しかし、資料センターの所蔵資料は緑岡小学校の9年間の教育内容を明らかにするための資料としては少なく、今後も学習帳や文集はもとより、日記、写真、学校からのお便りなどの資料を継続して収集していきたいと希望している。ぜひ卒業生の皆様のご協力をお願いしたい。



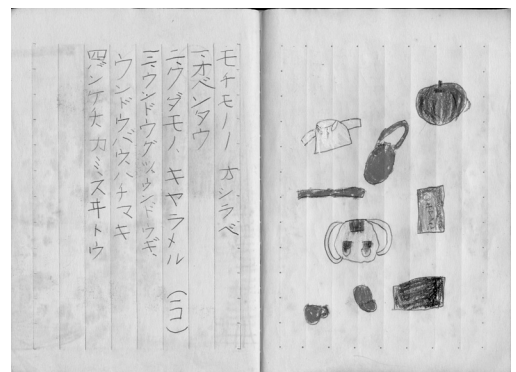
白砂智先生と児童



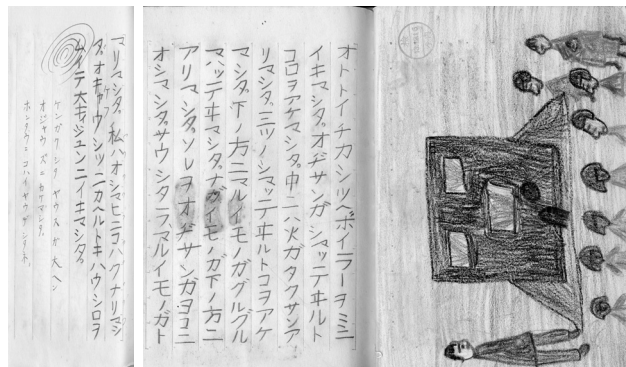
緑岡小学校 学習帳（表紙）



（エンソクノオシラベ）



（モチモノノオシラベ）



（ボイラーの見学）

資料センター所蔵

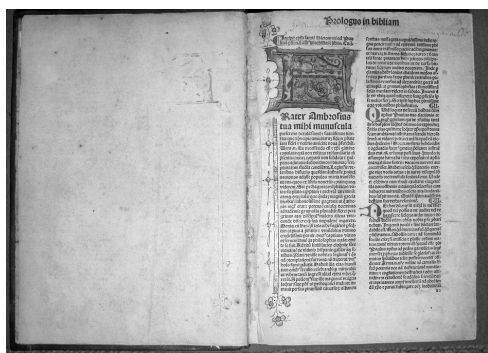
貴重文献の史料

青山学院大学名誉教授 気賀健生

青山学院資料センターに所蔵されている膨大な文献・史料・資料の中には、日本でも、或いは世界でも珍しい貴重なものも少なくありません。これから順次紹介してゆくことになりますが、青山学院資料センターとしては、まずキリスト教関係文書を取り上げるのが順当でしょう。

最初に御紹介するのは聖書の稀覯本各種です。

まずは*Biblia Latina*（ラテン語聖書）。1478年、ヴェニス版。1478年といえはかのグーテンベルクの活版印刷術創始（1456年頃「四十二行聖書」と呼ばれる世界最初の印刷物としての聖書）直後の時代で、まだ印刷術の幼稚な頃に印刷出版されたものと考えられますが、それにしても驚く程美しく、五百年以上を経た現在、保存状態も極めて良く、鮮明です。この時代、およそ15世紀中にヨーロッパ各地で印刷されたものはインクynaビュラ（“初期”の意）と呼ばれ、一般に貴重書として扱われています。インクynaビュラには通常刊行年が記載されていませんが、19世紀にLudovich Hainの考証研究によって文献類の詳細な年代確認が可能となり、*Biblia Latina*の成立年代、1478年も明らかとなりました。



Biblia Latina

次に御紹介するのは同じくラテン語聖書ですが、皮表紙をあけたタイトルページには、

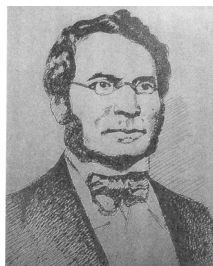
BIBLIA SACRA Vulgatae Editionis
SixtiV & Clementis VIII. Pont. Max.
auctoritate recognita

と書かれています。つまりこれはヴルガタ版聖書で、ローマ教皇シクストゥス5世及びクレメンス8世の公認版ということです。1662年パリで出版された新版（Editio Nova）で、年表、地図、索引、聖ヒエロニムスの序文、そしてこれらについてのAntonius Vitre（恐らく教父）という人物の解説つきです。“ヴルガタ”はラテン語で「共通」の意。4～5世紀の交、碩学ヒエロニムスによって改訂されたラテン語聖書が、やがて中世カトリック教会で“共通に”用いられ、ヴルガタと呼ばれるようになります。16世紀末、教皇シクストゥス5世、次いでクレメンス8世によって編纂された改訂版が、以後ローマ・カトリック教会の標準聖書のテキストとなりました。その一冊が当資料センターに所蔵されているという訳です。

次に英語・ヘブライ語対訳の旧約聖書。1877年The British and Foreign Bible Society出版で、印刷はウィーンのAdolf Holzhausen。これは青山学院の極めて初期からの蔵書と思われます。

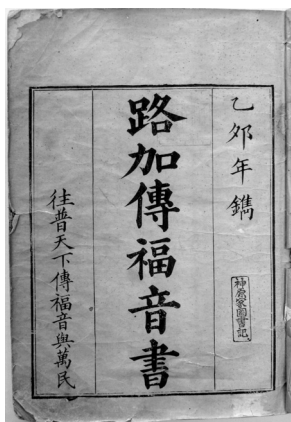
そして1850年版英語聖書。旧・新約にアポクリファ（旧約外典）を含み、「John Wycliffeとその弟子達によってラテン語のヴルガタから編纂された最古の英語版聖書」と表記されています。「最古の英語版聖書」とある通り、ウィクリフ時代の古典英語が随所に見られます。例えば“Here bygynneth a prolog for alle the bokis of the Byble of the oolde testament”と序文は始まっています。

次に和訳聖書の超貴重文献としてベッテルハイムBernard J. Bettelheim訳『路加傳福音書：ロカヨロコビウトヅリヲツタフノショモツ』（1858）を挙げましょう。ベッテルハイムはイギリス海軍琉球伝道会の宣教師として、1846年家族と共に那覇に派遣され、官憲のきびしい監視と迫害のもとに果敢

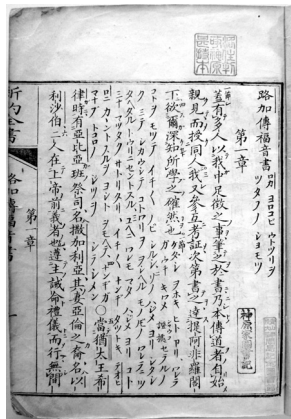


ベッテルハイム

な伝道を展開する傍ら、聖書の琉球語訳に情熱を傾け、四福音書、使徒行伝、ロマ書等の翻訳を完成させました。8年間の沖縄滞在中に彼が精力的に習得した日本語は、当然のことながら専らウチナーグチ（沖縄方言）であり、この『路加傳福音書』も、琉球方言とヤマトグチ（内地語）が渾然一体をなしています。この「路加伝」は当資料センター所蔵のもの以外には、イギリス聖書協会、大英図書館に限られた部数しか現存していない貴重本です。当資料センターには、この「路加伝」の他に『約翰傳福音書』と『使徒行傳』が所蔵されています。



路加傳福音書



路加傳福音書 本文

次にアメリカ長老教会伝道局から派遣された宣教師タムソンDavid Thompsonによる旧約聖書3冊を当資料センターは所蔵していますが、彼は創世記をはじめ旧約聖書翻訳の業績を特に評価されています。当資料センター所蔵の3冊は、創世記抄訳3冊と、『舊約聖書約拿書・哈基書・馬拉基書』1冊の完訳ですが、試みに読んでみて、現行の新共同訳聖書などと比較して、遙かに格調高く、しかも意味のわかり易い翻訳であることにむしろ一驚を感じます。

明治初期から中期に和訳出版された旧新約聖書が数種類当資料センターには保存されていますが、和訳の訳文を瞥見したところではその後大正・昭和初期に発行されたものとほぼ同じです。即ちプロテスタント教会側の旧新約聖書と和訳は、ほぼ明治中期にその基本形が完成されていたと

考えられます。そしてこれらの聖書は、印刷の字体がそれぞれ異なるので、この時期日本に於て既に聖書印刷が盛んに行われていたことが推定されます。それから、*Holy Bible in Japanese : Romaji Edition*。いづれも立派な装丁で、この時代、宣教師をはじめ、ローマ字版聖書の需要がかなりあったことを窺わせます。有名なヘボン (J. C. Hepburn) 訳のローマ字版新約聖書は何と文語体です。

次に“超”貴重文献として「改訳新約聖書稿本」10冊を御紹介します。この“稿本”は文字通り翻訳原稿の草稿で、勿論当資料センター所蔵の稿本が唯一の原本です。明治時代の後期になって、日本での聖書学の進展と、国語の変遷のため、当時の福音同盟会に於て改訳事業が提起され、1910（明治43）年、日米8人からなる聖書改訳委員会が発足しました。ギリシア語原典からの本格的改訳事業は、7年の歳月を費やして1917（大正6）年に完成しました。当資料センターでは貴重資料用の桐箱に収められて百年近くも保管されてきました。いづれも和綴、ペン書きで、朱筆訂正加筆が随所に見られ、改訳委員の方がたの翻訳作業の苦闘を彷彿とさせる史料です。同委員会の書記をつとめた青山学院の別所梅之助教授によって、一括寄贈されたもので、聖書翻訳にかかわる先人達の労苦の一端を如実に物語るものといえましょう。

以上、当資料センターが所蔵する明治期のキリスト教貴重文献のうち、聖書を中心に御紹介してきました。まだまだありますが、それらは次回に譲ります。

最後に珍しい聖書をひとつ御紹介しましょう。東京のBritish and Foreign Bible Society発行の『アイヌ語聖書』です。John Batchelor訳の聖書3点。バッチェラーはその一生をアイヌ伝道に捧げたイギリス教会宣教会CMSの宣教師です。その3点とは、マタイ福音書 (*A Mtteu Orowa No Asange Pirika Orushpe*, 1889年)、マタイ・マルコ福音書 (*Mattaios Newa Morkos Orowa No Asange Pirika Shongo*, 1896年)、そしてギリシア語原文からの訳文で新約聖書全文 (*Chikoro Utarapa Ne Yesu Kiristo Ashiri Aeuítaknu Oma Kambi*, 1897年) です。

2010 年度前期受入れ 資料

(学内部署からの資料は除く)

寄贈(抜粋)

- 徳永勉様より、中学部バッジ・ワッペン各種 1943～1946年、大学記念バッジ各種 1949～1952年
- 勝野栄一様より、青井栄(元中学部教員)旧蔵英語教材 中学部英語文法教科書、教師用指導書 各1冊 1935～36年
- 滝澤民夫様より、『岡山孤児院におけるネットワーク形成と自立支援に関する総合的研究』報告書 研究代表者:細井勇 2010年
- 尾花清様より、『大谷英一と「もう一つの国民高等学校」の研究(1) -韓国ブルム学校から久連国民高等学校へ』尾花清著 2010年
- 青山学院理工会様より、『青山学院理工会会誌』56号 2010年
- 半田より子様より、田村忠子(緑岡幼稚園教員)画の絵葉書 9枚
- 日本聖書協会様より、『キリストにあってひとつ -主イエスの証し人として- 日本プロテスタント宣教150年の記録』冊子、DVD各1 2010年
- John Moss様より、青山学院構内カラー写真 7枚
John Moss(宣教師)撮影 1948年



John Moss撮影アイグルハート館にて 左から Moss先生、Yount先生、Reibhoff先生 1948年秋



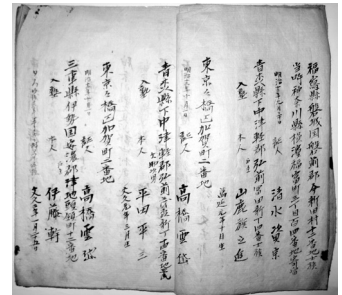
John Moss撮影初等部運動会準備体操 1948年秋



John Moss撮影青山学院正門 1948年秋

- 柏崎節子様より、『ある婦人宣教師のあゆみ -オットーさんのアルバムより-』柏崎節子著 2010年
- 気賀健生様より、元良勇次郎が写っている写真(撮影年不明)2枚、日本メソジスト教会東部年会写真(昭和10年)、日本基督教団の集合写真(昭和17年頃)、『東日本におけるメソジスト宣教の足跡』啓明学院高等学校第4回卒業生男子有志編 2010年 ほか
- 校友会青盾会事務局様より、会報『鳶の輪』第27号 2010年
- 初等部同窓会くすのき会様より、『くすのき会会報』13号 2010年
- キリスト教学校教育同盟様より、『キリスト教学校教育同盟百年史紀要』8号 2010年

- 山口陽一様より、『竹岡美以教会略史』(コピー資料) 鈴木一編 明治34年、『千葉県キリスト教史研究』第2号 東京基督教大学国際宣教センター発行 2008年
- 青山学院校友会様より、『校友会史 生まれ変わった校友会-最近10年のあゆみ-』校友会史編集委員会編 2010年
- 大学常青寮緑友会様より、青山学院大学常青寮関係資料 計4点
- 千葉浩美様より、『ミス・ダイヤモンドとセーラー服 -エリザベス・リー その人と時代』古川照美、千葉浩美編 2010年
- 兩宮剛様より、『信仰と希望と愛-ジョナサン・正武・藤田牧師追悼集-』高橋玲二、中条石、兩宮剛編 2010年 ほか
- 宇佐見畏様より、『出会いの不思議-明治大正期の三井銀行にみる慶應義塾と青山学院の人脈』宇佐見畏著 2010年
- 大学第二部宗教部「岩の会」様より、『岩の会だより』17号 2010年
- 幼稚園同窓会いとすぎの会様より、『いとすぎだより』12号 2010年
- 松岡正樹様より、『明治十二年十月入学名簿 神学校』[美會神学校の名簿]
- 大学グリーンハーモニー合唱団OB会様より、『グリーンハーモニーOBニュース』42号 2010年
- 大学法学部同窓会創『明治十二年十月入学名簿 神学校』立20周年実行委員会様より、『青山学院校友の店 タウンマップ 渋谷区・港区』
- 栗林一路様より、『俳句とタミオロジー』栗林一路著 2010年
- 外山信司様より、『松本英子の生涯』府馬清著 1981年
- 他大学・学校 年史・紀要類



購 入

- 『若き科学者の随筆 間島道彦遺稿』有島生馬編、新潮社、大正15年
- 『婦人と消費経済』塚本ハマ講演、静岡県社会課、大正12年
- 『東京府豊多摩郡渋谷町平面図』渋谷町役場製図、渋谷町報社、大正7年調査、大正14年第7版発行
- 『詩集 祈れる魂』三浦關造著、隆文館、大正15年
- 『戯曲 基督の誘惑』三浦關造著、眞珠書房、大正15年
- 『甦る受難者』三浦關造著、誠文堂、大正15年
- 『新約聖書物語』三浦關造著、誠文堂、大正15年
- 『森林哲学 生の実現』タゴール著、三浦關造訳、玄黄社、大正4年
- 『鉅毒地の惨状 第1篇』松本英子編、教文館、明治35年

2010 年度前期

日誌 (抄録)



4月

閲覧 (青山)

- ・教員、著述・論文作成のため『護教』。
- ・教員、他校史資料 (2回)。
- ・大学名誉教授、記録類調査・著述のため学院資料 (2回)。
- ・職員、資料作成の事前調査のため学院資料。
- ・元職員、校史調査のため学院資料 (2回)。
- ・校友、明治期基督教関係図書。
- ・校友、他校史編集・著述のためメソジスト教会史資料。
- ・教会員、“The Japan Christian Year Book” (2回)。
- ・他大学教員、論文作成のため『教界時報』『青山学報』ほか (2回)。
- ・他大学学生、メソジスト教会史資料。
- ・イギリスの研究者、学院宣教師関係資料。

閲覧 (相模原)

- ・職員、大学50年史調査のため学院資料 (2回)。
- ・大学名誉教授、校友伝記執筆関連調査。

来室 (青山)

- ・一般の方、勝田銀次郎の義挙についての相談。
- ・教員、短大史打ち合わせのため。
- ・教員、明治期基督教関係資料図書のデータベース作成作業を継続する件についての相談。

来室 (相模原) …姫路市立博物館学芸員、白瀧幾之助画「間島弟彦像」を秋に開催予定の展覧会に借用希望のため現物確認。

業務依頼…他部署より原稿校正依頼3件。

レファレンス…13件 (大学校章の由来について、ほか)。

資料提供…柏崎節子著『ある婦人宣教師のあゆみ』2010年4月発行に、「聖経女学校卒業写真」明治28、29年、「東京英和女学校旧友会写真」昭和13年 計3点。

校正依頼…『大学五十年史』(～10月)。

5月

閲覧 (青山)

- ・教員、講演準備のためジョン・ガウチャー関係資料 (4回)。
- ・元職員、校史調査のため学院資料 (3回)。
- ・教会員、“The Japan Christian Year Book” (3回)。
- ・校友、他校史編集・著述のためメソジスト教会史資料。
- ・校友、講演・著述のため学院史図書。
- ・韓国の研究者、ロバート・マクレイ関係資料、“The Gospel in All Lands” (3回)。

閲覧 (相模原)

- ・大学名誉教授、校友伝記執筆関連調査。
- ・校友、講演・著述のため学院資料。

レファレンス…15件 (カレッジソングの由来について、ほか)。

資料提供…岡田正子著『幸田露伴と西洋 —キリスト教の影響を視座として』(仮題) 関西学院大学出版会発行予定に、「東京英学校発足記念写真」明治14年 1点。

校正依頼

- ・『青山学院総合案内』2010年版校正、写真提供。
- ・ゴールデン&シルバージュビリー・リーフレット校正、写

真提供。

来室 (青山)

- ・職員、大学50年史作業のため。

資料センター運営委員会開催。

6月

閲覧 (青山)

- ・教員、講演準備のためジョン・ガウチャー関係資料。
- ・元職員、校史調査のため学院資料 (5回)。
- ・教会員、“The Japan Christian Year Book” (4回)。
- ・職員、大学50年史調査のため学院資料。
- ・本学学部生、授業のため『六合雑誌』。
- ・本学学部生、大学新聞記事作成のため資料撮影・取材。
- ・他大学学生、メソジスト教会史資料。
- ・他大学学生、『護教』、メソジスト教会史資料。
- ・校友、他校史編集・著述のためメソジスト教会史資料。

閲覧 (相模原)

- ・大学名誉教授、学院資料、他校史資料 (2回)。
- ・教員、青山学院大学創立期資料。
- ・職員、業務のため学院資料。

レファレンス…20件 (津田仙が最期に携えていた月桂樹が植樹された教会はどこか、ほか)。

資料提供

- ・中井純子著 “The Japanese Bible - A Historical and Analytical Study of Its Development with Particular Focus on the Period 1837-1887” に、「キリシタン禁制高札写真」2点
- ・TBSテレビ番組「中居正弘の金曜日のスマたちへ フジ子・ヘミングの特集」2010年10月放映予定に「緑岡小学校写真」1938年頃 1点
- ・初等部に隠れキリシタン遺物等4点 (現物貸出)。

校正依頼

- ・『蜚雪時代』掲載「シリーズ青学再発見！青山学院シンボルマーク「盾」」に資料提供、原稿校正。

来室 (青山)

- ・大学図書館職員、明治期基督教関係図書のOPAC反映作業。
- ・短大教員、他部署より移管された能版画の鑑定。

来室 (相模原)

- ・職員と業者、資料センター所蔵絵画等調査・確認。

7月

閲覧 (青山)

- ・元職員、校史調査のため学院資料 (4回)。
- ・教会員、“The Japan Christian Year Book” (3回)。
- ・校友、伝記資料調査のため宣教師関係資料ほか。
- ・職員、業務のため学院資料。
- ・本学学部生、著述のため学院資料。
- ・他大学学生、メソジスト教会史資料。

閲覧 (相模原)

- ・本学学部生、大学新聞記事作成のため学院資料。
- ・他大学学部生、学院資料、校友伝記資料 (2回)。

レファレンス…12件 (中学部教職員の氏名と担当教科の確認、ほか)。

資料提供

- ・青山学院大学新聞部編『青山学院大学新聞』2010年7月発行に、「折り畳み式リードオルガン」写真(撮影)。
- ・川端純四郎著『さんびかものがたり 4』2010年10月日本キリスト教団出版局発行に「ヴァン・ベテンと海岸女学校初期の生徒」写真 1点。

- ・『週刊江戸』36号、2010年9月デアゴスティーニ・ジャパン発行に、「津田仙肖像写真」1点。
- ・北海道浦河町立郷土博物館「赤心社創立130周年記念事業資料展」8月14日～22日開催に、「津田仙肖像写真」1点。

校正依頼

- ・『青山学院大学新聞』掲載記事「お宝発見(4)オルガン」校正。

来室（青山）

- ・教員と職員、大学50年史作業のため。
『Aoyama Gakuin Archives letter』第2号発行。

8月

閲覧（青山）

- ・元職員、校史調査のため学院資料（2回）。
- ・教会員、「The Japan Christian Year Book」。
- ・大学図書館員、レファレンス対応のため『福音新報』。
- ・他大学学生、メソジスト教会史資料。
- ・他大学院生、メソジスト教会史資料。

レファレンス…8件（クラス会にて使用するため、在学時と現在の青山キャンパス建物配置図と写真を希望、ほか）。

資料提供

- ・『週刊ダイヤモンド別冊歴史』2号、2010年9月ダイヤモンド社発行に、「津田仙肖像写真」1点。

来室（青山）…大学図書館職員、大正文庫（震災関係）をOPACへ載せる作業のため。

9月

閲覧（青山）

- ・元職員、校史調査のため学院資料（3回）。
- ・教会員、「The Japan Christian Year Book」（2回）。
- ・中等部非常勤講師、明治期基督教関係図書。
- ・校友、他校史編集・著述のためメソジスト教会史資料。

- ・大学図書館員、レファレンス対応のため明治期基督教関係図書。
- ・他大学院生、メソジスト教会史資料。

閲覧（相模原）

- ・大学名誉教授、学院資料。
- ・職員、業務上調査のため大学創立期資料。
- ・職員、業務上調査のため大学卒業アルバム。
- ・職員、大学50年史調査のため学院資料。
- ・大学図書館員、レファレンス対応のため校友伝記図書。

レファレンス…17件（関東大震災の際に学院が朝鮮半島出身者を保護したことを記述した資料の有無、新ガウチャーホール撤去後の敷地がテニスコートになるまでの間、何か建っていたか、ほか）。

資料提供

- ・北海道浦河町立郷土博物館「赤心社記念館」常設展示に、「津田仙肖像写真」1点。
- ・姫路市立美術館「特別企画展 没後50年 白瀧幾之助展」9月11日～10月31日開催に、絵画「間島弟彦像」1点（現物貸出）。
- ・青山学院大学新聞部編『青山学院大学新聞』2010年9月発行に、「愛」の像の写真1点。

校正依頼

- ・『青山学院大学新聞』掲載記事「お宝発見(5)「愛」の像」校正。
- ・事務ポータルお知らせ「白瀧幾之助展」紹介記事原稿校正。

来室（青山）…アイビーホール青学会館、フィリアの一室の壁面に青山学院の歴史を表す写真（人物、建物等）を展示する企画についての相談

青山学院資料センター利用案内

資料センターは、青山キャンパス再開発計画に伴い、2005年11月17日に下記2箇所に臨時移転いたしました。移転期間中、展示はお休みいたします。閲覧希望の場合は、余裕を持って連絡してください。

★資料の閲覧曜日、時間

特定の研究目的を持って閲覧を希望する方々に公開。

- ・相模原キャンパス N棟N403（主に学院史資料）
月曜日～金曜日 9時30分～17時
- ・青山キャンパス（完全予約制）
（主に明治期基督教関係図書、英語・英文学関係図書、メソジスト教会関係資料）
火曜日 9時30分～17時
土曜日 9時30分～13時
（2キャンパスとも 昼休み 11時30分～12時30分）

★休日

日曜日・国民の祝日・夏期一斉休業・クリスマス・年末年始(2010年12月25日～2011年1月5日)・その他青山学院が定める休日

★お問い合わせ・連絡先

TEL：03-3409-6742 FAX：03-3409-8134（2キャンパス共通）
（相模原）〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺5-10-1
（青山）〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
URL <http://www.aoyamagakuin.jp/mcenter/>

資料センター運営委員

（任期2009年4月1日～2011年3月31日）

院長（職務上）	山北 宣久（2010年7月1日～）
常務理事1名（職務上）	西澤 宗英（2010年10月1日～）
学院宗教部長（職務上）	嶋田 順好
大学図書館長（職務上）	山本 吉宣
大学 教員1名	清水 信行

女子短期大学	教員1名	八耳 俊文★
高中部（高）	教員1名	佐藤 隆一
高中部（中）	教員1名	小田井 孝★
初等部	教員1名	佐々木 淳★
幼稚園	教員1名	川島 祥子★
総局長（職務上）		岸 實
資料センター事務長（職務上）		傳農 和子
（★は2010年4月1日～）		

資料センタースタッフ人数

専任 2人
派遣 2人（延べ週3日）
パートタイマー 2人

Aoyama Gakuin Archives Letter

青山学院資料センターだより 3号

2010年12月20日

青山学院資料センター編・発行



印刷：三美印刷株式会社
1,200部